

私たち「地域おこし協力隊」です！



ねき ともひろ
根木 智宏さん

「都会を離れて地方で生活したい」
「地域社会に貢献したい」
「人とのつながりを大切にして生きていきたい」
「自然と共存したい」
「自分の手で作物を育ててみたい」
今、都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた「地方」に注目しています。
地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。
今回、大豊町では3人の地域おこし協力隊を受け入れ、主に都市と大豊町の交流事業の支援を行いながら地域資源の発掘、振興、農林業の振興に係る支援、健康づくりに係る支援や地域行事に係る支援についても取り組んでいただき、地域への定住・定着を図ってまいります。

(穴内地区を中心に活動)

出身地：岡山県
趣味：ツイッターなどで情報発信すること
特技：どこでも寝られる、なんでも食べられる
抱負：涓滴(けんてき)岩を穿つ～努力を怠らない
大豊町の印象：マイナスイオンあふれる杉の都
癒やされたい人と癒やしたい人がたくさんいる町



いなげ あき
稲毛 亜紀さん

(庵谷地区を中心に活動)

出身地：東京都
趣味：料理、散歩
特技：ワイヤーアクセサリーづくり
抱負：元気に楽しく、地域のお役に立てるようがんばります
大豊町の印象：空がとてもきれい。山頂からの景色は爽快です
皆さんとても親切で、たくさん助けられています



おかだ ゆうすけ
岡田 裕介さん

(岩原地区を中心に活動)

出身地：神奈川県
趣味：日曜大工、ゲーム、ドライブ
特技：柔道、スノーボード
抱負：1日も早く地域になじみ、みんなで盛りあげていきたい
大豊町の印象：人が優しい
自然が目前にあり、空気がおいしい

平和七夕まつりに参加して 老人ホーム大豊園入所者一同



大豊園では、昨年に引き続き、今年も高知市京町のアーケードを彩る平和行事としての折鶴を入所者のみんなで春から作り始めました。

鶴を折り始めたころ、東日本大震災が発生し、大勢の方が亡くなるという大変痛ましい災害が起こりました。
自分たちができることとして、震災に遭われた方々のご冥福をお祈りし、復興と平和への願いを込めコツコツと折り続け、約1万5千羽を折りました。
写真は、自分たちの折った鶴を園内に飾ったときのものです。
昨年は、大豊園の折った鶴を偶然見かけた大豊町出身の方から励ましのお手紙を頂きました。
今年はこのような出会いがあるでしょうか。

火点は前方の標的！ 大豊町消防団夏季演習操法大会

7月24日、農村広場で大豊町消防団夏季演習操法大会が実施されました。
この大会は、消防技術の向上と団員の士気の高揚を図ることを目的に、2年に1度開催されています。
大会の結果は次のとおりです。
1位 落合分団落合部
2位 大田口分団大田口部
3位 東部分団岩原部
上位3部は、嶺北地区操法大会での上位入賞を目指し毎晩練習に励んでいます。

8月21日に行われた嶺北大会の様子は、次号掲載予定です。



落合分団落合部3連覇！

国際人を目指して！ 大豊町中学校生徒海外研修結団式



8月8日、大豊町中学校生徒24人がオーストラリア研修に出発しました。
これは、中学3年生の希望者を対象に、海外の文化、生活習慣等に直接触れさせることにより、21世紀を担うにふさわしい国際的視野と感覚を養い、豊かな表現力を備え、自ら考え判断できる人材を育成することを目的に、今年度から始まりました。

7日間の滞在中、国際交流員マックスのお母さんが働いているメルボルンの学校で英語を学んだり、ホームステイをするそうです。



現地での様子は、次回ご報告します。

厚生労働大臣をお迎えして あったかふれあいセンター事業



8月7日、大砂子集会所で社会福祉協議会の「あったかふれあいセンター事業」が行われ、約30人の参加がありました。
この日は、高知県出身の細川厚生労働大臣をお迎えし、過疎地における高齢者の暮らしを維持・確保するための座談会を開き、過疎地で暮らす中での要望や想いなどを話し、大臣と熱心な意見交換を行いました。

また、大臣は普段行っている体操なども見学され、今後の厚生労働行政への参考にされるようでした。

